

16 令和2年度大分県高等学校新人登山競技大会実施要項

《 縦走 》

- 1 期 日 令和 2 年 10 月 31 日 (土) 10 : 00 バス (大工発 竹田経由)
13 : 00 開会式、各種審査
11 月 1 日 (日) 7 : 00 登山行動 (2泊3日)
2 日 (月) 9 : 00 閉会式
11 : 00 バス (竹田高校経由、大工着)
- 2 会 場 湧蓋山・みそこぶし山・一目山 (九重町)
- 3 競技方法 (1) 全国高等学校登山大会成績評価実施要項により、パーティごとに審査委員が採点し順位を付ける。
(2) 男子 A 隊、B 隊・女子 C 隊・D 隊ともに、1 チームの総重量の制限は設けない。
- 4 参加資格 「令和2年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。
ただし、学校長及び保護者の許可を得て、本大会の登山行動に支障がない者とする。
- 5 参加制限 (1) 各学校とも、4 パーティーまで参加を認める。
ただし、A 隊・C 隊は各 1 パーティーのみとする
(2) チーム編成は、監督 1 名・選手 4 名の 5 名で、男女混成は認めない。
ただし、B 隊・D 隊は監督 1 名・選手 4 名以下でもよい。
- 6 参加申込 (1) 期限 令和 2 年 10 月 16 日 (金) 必着
(2) 方法 所定の様式は県高体連ホームページから入手し、下記により期限内に行う。
所定の様式で作成し一部印刷して、承認(要捺印) 後下記まで郵送する。
(3) 宛先 〒877-0025 大分県日田市田島 2 丁目 9-3 0
日田高校内 専門委員長 久井田 崇
- 7 参加負担金 選手(補欠を含むエントリー) 1 人あたり、加盟校600円・非加盟校1,000円を大会当日の受付で納入する。
(1) 諸経費 (貸切バス・荷物輸送・保険料) 選手・監督 1 人 6,000円 を受付で納入する。
(2) 宿泊費(食費込み) 選手:1人3,700円 監督:1人3,320円
- 8 諸 会 議 第2回専門委員会
令和 2 年 10 月 16 日 (金) 10 時～ 大分商業高等学校
- 9 連絡事項 (1) 参加者は、出発前に必ず健康診断を受けること。
(2) 燃料は、灯油またはガスを使用すること。
(3) テント、フライ及び雨具には校名を記入すること。
(4) 雨天の場合も実施する。ただし、天候・他の理由で日程・コースの変更もあり得る。
(5) 細引きは直径 5mm～8mm、長さ 5m 程度のものを用意すること。
また、各自サブザック、ツェルトを準備すること。
(6) 地図は、国土地理院25,000分の1の地形図「湯坪」を用意すること。
ただし、正式な地図は少なくともパーティーに1部用意し、他はコピーでも可とする。
(7) 天気予報図は、1号用紙を準備すること。ラジオは必ず1台持参すること。
(8) 安全のため、原則として1パーティーに1名の監督をつけること。
(9) 参加生徒は参加同意書を提出することとします。
(10) 参加する学校は選手・監督の体調管理表及び行動履歴書を作成すること。
(11) 発熱等の症状がある場合は、参加を見合わせる(当日の体調急変を含む)。
(12) その他不明な点は、専門委員長 久井田 崇 まで照会のこと。
- 10 追加連絡 (1) 今大会は九重青少年の家を利用します。引率者及び参加者の宿泊に伴う費用は学校負担とします。ただし、補助員については高体連が負担します。日程詳細については予報にてお知らせします。

16 令和2年度大分県高等学校新人登山競技大会実施要項

《 クライミング 》

- 1 期 日 令和 2 年 11 月 15 日 (日) 9 : 00 ~ 受付
9 : 30 開会式・競技説明
10 : 00 リード競技開始
13 : 00 ボルダリング競技開始
15 : 30 閉会式
- 2 会 場 県立総合運動公園クライミング施設 (リード壁・館内ボルダリング場)
- 3 競技方法 リード競技 (オンサイト方式) ※トプロープも可能
ボルダリング競技 (セッション方式)
2つの競技を同日に行い、リード競技順位とボルダリング競技順位の積で
順位を決定する。
- 4 参加資格 「令和2年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。
ただし、学校長及び保護者の許可を得て、本大会の参加に支障がない者とする。
- 5 参加制限 特になし
- 6 参加申込 (1)期限 令和 2 年 10 月 23 日 (金) 必着
(2)方法 所定の様式は県高体連ホームページから入手し、下記により期限内に行う。
様式で作成し一部印刷して、承認(要捺印)後下記まで郵送する。
(3)宛先 〒877-0025 大分県日田市田島2丁目9-30
日田高校内 専門委員長 久井田 崇
- 7 参加負担金 (1) 参加負担金は、エントリー選手1名につき600円を当日受付時に納入のこと。
ただし、同大会の縦走競技ですでに納入している者は除く。

(2) 諸 経 費
保険料は、一人500円を当日、受付時に納入のこと。
ただし、年間を通じてクライミング保険に加入している者、及び国体予選参加者で
既に保険に加入している者は除く。
- 8 出場権の
獲得 今大会は国体選手選考の予選を兼ねる。
- 9 連絡事項 (1) 参加者は、出発前に必ず健康診断を受けること。
(2) ハーネス・クライミングシューズは持参すること。
(3) 参加生徒は参加同意書を提出することとします。
(4) 参加する学校は選手・監督の体調管理表及び行動履歴書を作成すること。
(5) 発熱等の症状がある場合は、参加を見合わせる (当日の体調急変を含む) 。
(6) その他不明な点は、専門委員長 久井田 崇 まで照会のこと。

感染症等の対策に関する留意事項について

登山競技専門部

1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 参加する学校は、選手・監督の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること。
- (3) 競技専門部は、競技役員等、来場者の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること。
- (4) 発熱等の症状がある場合は、参加を見合わせる（当日の体調急変を含む）。
- (5) 参加者は、マスク着用（息苦しさを感じた時は外す）、咳エチケット、こまめな手洗いなど、基本的な感染症対策を徹底すること。
- (6) 競技会場各所に手指消毒薬を、トイレ等には手洗い用石鹸を準備すること。
参加者が触れる場所はアルコールや次亜塩素酸ナトリウム等で定期的に消毒するとともに、競技に使用する共用の用具（ボール等）を消毒すること。次亜塩素酸ナトリウムを使用する場合は2度拭きする。
- (7) 大会は、無観客を原則とする。
- (8) 密閉を避けるため、定期的に会場の換気を行う。
- (9) 密集を避けるため、人が集まる場面では1～2メートル程度あけさせる。更衣室等の利用にあたっては短時間の利用とし、一斉に利用しない。
- (10) 密接を避けるため、握手やハイタッチなどの身体接触をしない。近距離での会話や発声をしない。応援はメガホン等を使用しない。水分補給用のボトル等、チーム内での共用をしない。
- (11) 各専門部が作成する実施要項及びプログラム等に「感染症等の対策に関する留意事項」を明記すること。
- (12) 感染防止対策を講じていても、県内の感染状況等に鑑み、急遽、大会中止や延期となる場合がある。

2 登山競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

《密閉》

- ・更衣室は、利用時間や利用人数を制限する場合もあるので注意すること。

《密接》

- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスクを装着すること。
- ・マスクを外さなければならない場合は、人との距離をできるだけ2m保つこと。
- ・競技中の監督、コーチ、選手同士でのハイタッチなどは避けること。
- ・共有する器具の使用に際して、こまめに消毒を行うので協力すること。

《密集》

- ・競技役員、補助員等は、できるだけ2mの距離を保つこと。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分しているため注意すること。